教育委員会との懇談会　追加質問まとめ

〈小学校部会・追加質問〉

1.ICTについて

・タブレットの導入について、高学年からiPadの配布が決定していると聞いています。今後他の学年を含めた　導入スケジュールはどのような感じで進めるのでしょうか？
またiPadをどのように教育に活用していくのか教えてください。

【教育指導課】
9月までに小中学校の教員及び中学校３年生にタブレット端末の配備をしており、10月に小学校６年生、11月に中学校２年生、12月に中学校１年生と順次配備し、年度内には全児童・生徒への配備が完了する予定です。iPadの活用については、授業において、自分の考えをまとめ、発表につなげ、他者と共有ができる機能を活かし児童生徒のより深い学びにつなげるツールとして活用し、放課後や家庭学習のほか、学校の臨時休業等で登校できない場合にも、オンラインを活用した授業配信等を実施するなど最大限活用できるよう取組を推進していきます。

・タブレットを導入した場合の、教員に対しての教育（オンライン授業予行演習、ICT機器を使用した授業作り等）の方針を教えてください。

【教育研修課】
教育委員会では、GIGAスクール構想を見据え、小中学校各校から１名ずつ選出された先生方と教育委員会　指導主事等からなる情報教育推進ワーキングチームを６月に立ち上げ、小中学校、情報教育推進ワーキングチーム、教育委員会が一体となって、情報教育を推進しています。その取組の１つとして、ワーキングチームの中で特に情報機器の操作に長けたメンバーをコアメンバーと位置づけ、オンライン会議等を通してタブレット端末の効果的な活用について授業づくりや業務改善の視点から実践研究を積んでいます。また、コアメンバーの実践を他のメンバーと共有すべくGoogleのクラスルームを開室し、日常的にメンバー同士が情報交流、意見交流ができるようにしています。
また、ICT機器の操作に不慣れな教員も含め、全教員がタブレット端末を活用することができるよう動画教材「情報教育推進に向けた教職員校内研修『みんなで高めよう！ICT　20steps』」を教育研修課より配信し、タブレット端末の基本操作から授業内・家庭学習での活用を教員がイメージできるように取り組んでいます。

・タブレットの活用について、授業のみの利用だけでなく、学校から配布されるプリントの閲覧や、欠席時の連絡手段や、ミルメールの代替等への活用は検討されたりしているでしょうか？

【教育指導課】
タブレット端末が1人1台配備される環境が整うことにより、行事などのスケジュール確認や保護者への案内などのプリントをデジタル化し配信することで、ペーパーレス化を図るだけでなく、家庭でのコミュニケーションツールの一助となるよう、欠席時の連絡手段や、ミルメールの代替を含めタブレット端末を活用できるよう検討しています。

〇タブレットについての追加質問

①先行配布された６年生のランドセルにiPadを入れた状態で重さを測った所、９キロ弱ありました。高学年でも登下校時はしんどいといった声を聞いていますので、低学年がこの重さのランドセルを背負っての登校はかなりの負担になると思います。
教科書を学校に置いて帰るいわゆる「置き勉」等の配慮がないと、いいツールであっても持ち帰って利用するのは難しいのではないでしょうか。教育委員会からの通達が無いとなかなか現場の

先生方の判断では出来ないのではと思いますが、今後対策をお考えいただくことはできませんでしょうか。

【教育指導課】
　学校に対しましては、宿題で使用する教材などを明示することにより、家庭学習で使用する予定のない教材等については学校に置いて帰ることを認めるなど、子ども達の負担軽減を図るよう促しております。引き続き、学校に対して、機会を捉えて促してまいります。

②９月頃のネットニュースで枚方市のiPad導入が取り上げられていました。その中で枚方市が先進的な事例を作って他の市町村のお手本になるといった記載があったので、保護者としては期待しています。しかし配布されてからの使い方を子どもから聞いている限りでは、物足りなさを感じてしまいます。
導入されたiPadからYouTube等の特定サイトへの接続が規制されていました。当初は3GBの契約だったのである程度の規制は必要かと思いますが、動画サイトの中には、プレゼン資料の作成方法、プログラミングの基礎を説明した動画、プロの運動選手が動きを解説した動画など、現場の先生方が出来ない事を補う有益な動画もかなりの数上がっています。
先進的な事例を作るのであれば、全て規制をするのではなく、有益な使い方もあるといった事を広めるのも重要なのではないでしょうか。

【教育指導課】
　タブレット端末の活用に関しまして、様々なご意見、ご要望があることは承知しております。
　今年度緊急的にタブレット端末を全児童・生徒に配備しましたが、その第一義の目的はコロナ禍にあっても学びを止めないこととしていることから、現状、一定の制限をしております。
　今後に向けましては、授業等の場における有効活用に向けて調査・研究を進めてまいります。

③枚方市としてiPadを使用して目指す教育の目標やロードマップがあると思います。広報誌やネットニュースで発表するのではなく、せっかく児童一人一人にiPadが配布されるので、iPadを通じて全家庭にお知らせするような事をしてもらいたいと思いますが、そのような計画はありますでしょうか。

【教育指導課】
　タブレット端末を活用した学校と児童・生徒、保護者との関係構築に向けた方策を積極的に進めてまいります。

3. 見守りシステムについて

・保護者の中では見守りシステムに対する関心が高いです。枚方市として関西電力の見守りシステムの導入を進めると報道発表がありました。市内で実験的に杉中学校区から導入を開始されるとのことですが、今後の導入スケジュールについていつ頃までに全校区に導入予定なのか教えてください。

【学校安全課】
　９月から杉中学校区（杉中学校、菅原東小学校、氷室小学校、藤阪小学校）で先行導入をはじめています。
令和３年９月の市内全校区導入に向け、取り組んでいきます。

○見守りシステムについての追加質問

教育委員会の担当者と関電の担当者の方から、PTA向けに説明会がありました。
位置情報の確認窓口は４回線なので、問い合わせが重なると電話が繋がらない可能性もあるといった話があり、回線数や窓口担当者の人員に関しては、説明会にて出た声を反映して検討をしていくといった説明がありました。すでに全校への説明が終わっているかと思いますが、現時点での検討状況を教えてください。

【学校安全課】
　見守りサービス「OTTADE!」の進捗につきましては、新型コロナウイルス感染症対策の影響で遅れております。電話回線数等につきましては、先行導入市では、既設の回線数等での対応が適切になされていることから、本市においても同様の対応を行いたいと考えています。なお、今後も引き続き適切な対応が行えるよう取り組んでいきます。

7. トイレ

・トイレの洋式化について、進んでいる学校と進んでいない学校があると思います。校舎棟だけでなく、運動場・プール・体育館等も含めて学校施設全体の洋式化に対して保護者からの関心は高いです。予算の事もあるかと思いますが、いつ頃までに全校で導入完了するのか教えてください。

【まなび舎整備室】
　学校のトイレを洋式化とする取り組みについては、全学校において、子ども達が最も頻繁に使用する教室棟と管理棟にて、令和5年度までに整備が完了するように実施しています。

・トイレの掃除について、教育の一環としての面はあるとは思いますが、汚物の掃除やコロナの影響も含めて衛生面での心配もあります。専門の掃除業者への依頼をするとの話を聞きましたがいつ頃から開始する予定なのか教えてください。

【学校安全課】
　本年度は、10月中に週５日で、順次、業者委託によりトイレ清掃を行う予定としています。
　なお、本年度は国の第２次補正予算においてコロナ対策関連経費が補助金として交付されたことや、大阪府教育庁から発出された『感染症対策マニュアル』において、便器清掃については児童・生徒に行わせることは控えさせることとの指示があったことを受け、委託により実施するものであり、来年度の実施については、今のところ国の補助金の交付が未定であることや、コロナウイルス感染状況が不透明な中であることから、未定です。

○トイレについての追加質問

トイレの改修が終了した学校では、すごく綺麗になって子どもたちも利用しやすい環境になったと思います。しかし男子トイレに関しては、外から丸見えになってしまっている学校もありました。便器の形状のせいもあって、用を足している姿が以前より丸見えになり、学校が急遽のれんを設置して対応していました。
設計図だけではわからなかったのかも知れませんが、以前から男子トイレのプライバシーについては話題に上がっていたと思います。せっかく改修工事をするのであれば、その部分も検討していただくことはできませんでしょうか。

【まなび舎整備室】
　学校のトイレについては、状況に応じて、だれもが使いやすいトイレとなるように整備しています。現在、男子トイレのプライバシー等の観点からの整備についても取り組んでいるところです。

○３５人学級について追加質問

先日、文部科学省にて５年かけて３５人学級制を実施すると言うことが決まりました。
枚方市では現在１～４年生が３５人学級、５、６年生が４０人学級で編成されています。
どれくらいのスケジュールで、全学年の３５人学級制が実現していくご予定でしょうか。

【教職員課】
政府の方針決定を受け、次年度についてはこれまで府費負担による加配定数で35人学級を実施していた小学校２年生が国の基礎定数として措置されることとなります。令和３年度については、これまで通り市独自の少人数学級編制として、市費負担教員を配置して支援学級在籍児童を含めた35人学級編制（小学校１～４年生）と40人学級編制（小学校５・６年生）を実施します。令和４年度以降については現時点においては未定です。

〈中学校部会・追加質問〉

4. メール配信判断について

・ 枚方市内で発生した重大な事案（事件・自然災害など）について、メール配信する判断は各中学校に任せていると聞いております。しかし、それでは、学校により判断にばらつきが出て、各学校も判断に困る場合があると思います。実際、今年の7月に枚方市で大雨警報が発表された際、授業開始の時間が中学校により大きく違いが生じ、保護者は困惑しました。特に今後は、新型コロナウイルスの影響により学校行事の予定に変更が生じる可能性があると思われ、学校ごとで差異が発生しないようにしていただきたいと考えております。 教育委員会としての災害マニュアルはないのでしょうか、ない場合、早期の作成が必要と思われますが、どのようにお考えでしょうか。

【学校安全課】
７月の大雨警報発令時に学校間で取り扱いが異なったことを踏まえ、教育委員会から各学校へ、非常変災時等、重大な事案における情報や対応について指示・伝達し、行った対応について学校から教育委員会に報告する体制を築いています。
また、今後、教育委員会の災害対策マニュアルにも反映していく考えです。

〈追加質問〉
教育委員会から各学校への指示・伝達する事案とは、具体的にどのような内容なのでしょうか？
また、保護者側からとしては、どのような時にご連絡をいただけるのか知っておきたいと思いますが事例ごとに連絡する・しないの説明資料を配布するなどできますでしょうか。

【学校安全課】
教育委員会から各学校へ指示・伝達する事案とは、①特別警報、暴風警報等非常変災時における対応について、②新型コロナウイルス、インフルエンザ等感染症にかかる対応についてなど、学校の臨時休校や登下校時間の変更など緊急性の高い内容の事案となります。また、③事件や不審者情報など学校や児童生徒に危険性があり注意喚起する情報も伝達します。これらの内容につきましては、年度当初に改めて学校を通じて保護者にお知らせします。

＜生活指導委員会・追加質問＞

１．登下校時に災害や不審者等のトラブルに巻き込まれないかを不安視する声が多く、中でも「GPS見守りシステム」や校門通過時にメールが届く「登下校メールシステム」については、特に多くの保護者から導入の要望があります。昨年の段階では枚方市立学校園安全対策検討委員会で
協議中とのことでしたが、今後の予定や対応を詳しくお聞かせください。

【学校安全課】
　教育委員会は、関西電力送配電（株）と提携し、児童・生徒がホイッスル型の見守り端末を携行し、端末が発信する電波を市内通学路に設置する基地局（受信装置）が受信することで、児童・生徒の位置情報が分かる見守りサービス「OTTADE!」を導入していきます。本年９月から杉中学校区（杉中、菅原東小、氷室小、藤阪小）で先行導入しており、令和３年９月の市内全校区導入に向け、取り組んでいきます。

＜追加質問＞

①　「OTTADE!」について、現状の見守りポイントでは、保護者が心配だと思うゾーンまでカバーができておらず、不安だという意見が多いのですが、今後、どの範囲までカバーされ、見守りポイントが増えていくのか、詳しくお聞かせください。
　また、各学校の保護者から見守りポイントの設置場所の希望について、アンケート等で聞き取り調査をしていただける予定はあるのかもお聞かせください。

【学校安全課】
　見守りポイント（基地局）の設置場所につきましては、できるだけ保護者のニーズに沿った場所を選定したいと考えております。OTTADE!事務局にご連絡ください。また、導入後、見守りポイント等についてのアンケートを実施していきます。

②　「OTTADE!」は令和３年９月までに全校区で導入予定とのことですが、全校区導入までの間に導入済みの学校での問題点や改良点、保護者からの意見等を集めて、全校区の保護者と共有することは可能でしょうか。

【学校安全課】
　「OTTADE!」の運用上の問題点、要改良点、保護者意見につきましては、学校ごとに対応しておりますが、必要に応じ、学校安全課で全校区の保護者へお知らせしてまいります。

４．現状では携帯電話の持ち込みが禁止されており、緊急時の連絡手段や防犯の観点で不安の声が挙がっています。条件付きでの携帯電話持ち込みの制限解除や今年度中に全員配布予定のLTEタブレットを常時ネット接続にさせることでの防犯活用は可能でしょうか。

【教育支援推進室（児童生徒支援担当）】
　校内への携帯電話の持ち込みを原則禁止とし、特別な事情がある場合のみ、学校に相談をするようにしています。
【教育指導課】
　LTEのタブレット端末が1人1台配備される環境が整うことにより、いつでもどこでもインターネットへの接続は可能となります。緊急時の連絡等もタブレット端末を通して行うことも検討しています。

＜追加質問＞

① 全員配布予定のLTEタブレットについて、「緊急時の連絡等もタブレット端末を通して行うことも検討」と回答をいただいていますが、緊急時の連絡だけではなく、タブレットのGPS機能を利用した位置情報の確認など、防犯活用はできないのでしょうか。
「OTTADE!」が全校区で導入完了するよりも、タブレットが全学年に導入される方が早く、どの家庭でも無料で児童、生徒の位置を確認でき安心できると思うのですが、今後タブレットを防犯目的として活用する予定等がありましたら詳しくお聞かせください。

【教育指導課】
全児童・生徒に配備しましたタブレット端末にはＧＰＳ機能が備えられていることから、特定の児童・生徒に不測の事態等が生じた際には状況を踏まえて対応してまいりたいと考えています。

② 低学年の児童も毎日タブレットを持ち帰ると聞いています。高価なタブレットを持ち歩いている事を知っている不審者等に遭遇する危険があると思われるのですが、そういったことに対する安全対策についてはどのようにお考えでしょうか。詳しくお聞かせください。

【学校安全課】
不審者情報等の緊急情報を保護者にメールで配信するシステムを有効活用することや、登下校の安全指導、交通安全教室の活用、通学路の点検をするとともに、地域学校安全ボランティア、警察、市関係部局と連携し、登下校の児童生徒の安全確保について対応しております。

６．新型コロナウイルスによる影響で、見守りやパトロールなどを担う委員会活動ができていない学校も多く、例年より見守り活動が縮小されています。小学校の保護者より、教職員による生活指導活動の拡大を希望されている意見が有りますが、現在教育委員会として検討が進んでいるものはありますでしょうか。昨今の働き方改革や新型コロウイルスによる影響があれば、その状況も併せてお聞かせください。

【学校安全課】
児童・生徒の位置情報がわかる見守りサービス『OTTADE!』の導入をすすめております。

＜追加質問＞

現在のコロナ禍での状況をお聞きしたいので、全校区で導入が済んでいない「OTTADE!」の事ではなく現時点での教職員による「見守り」や「パトロール」など、教育委員会で検討されているものがあるのかどうか具体的にお聞かせください。

【学校安全課】
学校において、児童・生徒の発達段階に合わせて、自ら危険を回避する力を育成する安全教育の充実を図り、校区安全マップや児童一人ひとりの安全マップの作成を実施しています。不審者情報等の緊急情報を保護者にメールで配信するシステムを有効活用することや、登下校の安全指導、交通安全教室の活用、通学路の点検をするとともに、地域学校安全ボランティア、警察、市関係部局と連携し、登下校の児童生徒の安全確保について対応しています。

〈給食委員会・追加質問〉

２．小学校は給食ですが、中学校も選択制ではなく給食にするのはどうしても難しいのでしょうか。小学校により、給食センターで作っている学校と、小学校で作っているところがあるので、そこに中学生分を入れることは難しいのでしょうか。購入制度が面倒、自分でお弁当を取りにいかなければならないのがタイムロスなど、保護者・子どもたちからも声があがっています。完全給食を希望している保護者も多くいます。今回のコロナで休校となり、給食の有難さ・栄養バランスのよい食事の大切さがよくわかったという声も耳にします。平成28年に選択制給食が始まって以降何度も要望が出ていますが、進展がないように感じます。枚方市長の公約に『中学校給食は全員給食へ』とあります。任期中に実現していただけると思いますが、現段階でどの程度まで話が進み、いつまでに枚方市全中学校給食が開始となるのでしょうか。保護者・子どもたちの声に耳を向けていただき、現状を教えていただきたいです。

【おいしい給食課】

中学校給食を開始するに当たってその手法を検討した際に、中学校の学校運営を考慮して、ランチボックス方式を選択した経過があります。ランチボックスでの給食は、小学校で提供している食缶方式の給食とは調理工程が異なることから、小学校の調理場で中学校給食を作ることは困難と考えております。

中学校の全員給食については、現在、有効な手法を検討しておりますが、他の教育施策における優先順位や財政確保の課題を整理しながら進めているところであり、開始には複数年を要すると考えています。

今後も市長公約である本事業は、できるだけ早期に合理的な形で実施できるよう検討や検証に取り組んでまいります。

〈追加質問〉

まずは給食を食べる機会を増やすことで給食という選択肢が出てくると思います。
今の月毎申し込みのシステムのままでは、せっかく栄養面などいろいろ考えてくださっている給食がハードルの高いものになっているのではないでしょうか。
小・中学校で臨時的に10日間給食を無償提供して頂いたことで給食を選択する子どもも増えると思います。週毎の申し込みにするなどハードルを下げて、食べてもらう機会を増やしていただけないかと考えております。
公約もですが、2017年にYouTubeで『ここがスゴイぞ！枚方の中学校給食』と動画を挙げているのであれば、もっとスピードをあげて進めていく事業ではないでしょうか。今後複数年かかりますではなく、完全給食までの具体的なスケジュールはあるものなのかお聞かせください。

【おいしい給食課】

週毎（日毎）の選択については、現在検討しておりません。学校給食は単なる昼食の提供ではありませんので、中学生に必要な栄養価だけでなく幅広い食材を使用した食事内容が求められています。１回の給食でこの食事内容を満たすことは難しく、１ヶ月間で摂取目標に達するように工夫していることからも、月単位での提供を考えています。また、いつ申込んだのか忘れてしまい、弁当を忘れる等が予測されることからも、現在の申込み方法としております。

給食を食べていただく機会を設けることは、給食への興味関心の醸成につながると考えております。今後も多くの生徒に食べていただけるよう工夫してまいります。

中学校の全員給食については、新型コロナウイルス感染症の影響からスケジュールの再検証を余儀なくされている現状があることや他の教育施策における優先順位を整理しながら進めていくことが必要となっています。配膳室等の事前整備も含め、実施には複数年を要するスケジュールと考えています。

４．給食を食べる時間が１５分しかないと子どもから聞いています。もう少しゆっくり食事を楽しみながら食べることができるよう時間の配分を考えていただきたいです。各学校で給食の時間は統一されているのでしょうか。ただ食べるではなく、食育の時間をとらえ、時間配分の変更を検討していただくことは可能でしょうか。

【教育指導課】
　各学校では、教育課程と学校の状況を考慮しながら、時間割と時間配分を決定しています。その中で給食時間は、準備、食事、片付けを含めて一定時間に設定されており、児童生徒の発達状況や食べるのに速い遅いのばらつきがある中で、担任の工夫や給食後の休み時間の利用により、現在の給食時間が定着している状況です。

〈追加質問〉
コロナの対応により食器の返却時間を学年でずらす為、食べる時間が高学年になればなるほど短くなっているという声を聞いております。
食べるのが遅い子たちが急いで食べているため、空気を飲みこんで胃にたまり、ゲップが続く、ストレスで胃腸の不調が子どもたちの間で増えてきている等といった枚方市内勤務の医師のご意見もあります。
精神面・体調面で不具合が出てきている子どもたちがいる点をご考慮いただき、食器回収や給食を食べるといった時間を改めてご検討いただけないでしょか？

【教育指導課】
　給食時間においては担任教諭又は副担任教諭が同席しており、児童・生徒の状況把握に努めております。今後も引き続き、状況把握に努めるとともに、必要な時間を確保するよう、機会を捉えて促してまいります。